

令和2年度シラバス (国語)

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	国語(古典A)	単位数	2単位	学年(コース)	6学年(国際科学科) 国際文化コース
使用教科書	東京書籍『古典A』				
副教材等	第一学習社『完全マスター古典文法』、尚文出版『必携新明説漢文』、いっぴいな書店『みるみる覚える古文単語300+敬語30』				

1 学習目標

古典としての古文と漢文、古典に関する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

2 指導の重点

- ① 古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。
- ② 文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえること。
- ③ 文章や作品に表れた人間、社会、自然等に対する思想や感情を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。
- ④ 文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむこと。
- ⑤ 古典を読んで、日本文化の特質や日本文化と中国文化の関係について考えること。

3 学習計画

(1) 古文編

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	物語	伊勢物語 大和物語 うつほ物語	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的短い歌物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・文学史における歌物語の位置づけをおさえる。 ・助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	6	授業の取組 発問評価 課題点検 定期考査 小テスト
5 6	漢文	故事と寓話	<ul style="list-style-type: none"> ・故事と寓話を読んで、漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、人物の行動や心情を読み取る。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改め、現代語訳をする。 ・句形の読みと意味とについて理解し、それに即して現代語訳をする。 	6	授業の取組 発問評価 課題点検 定期考査 小テスト
7 8	物語	とりかへばや物語 松浦宮物語 住吉物語	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的短い歌物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・文学史における歌物語の位置づけをおさえる。 ・助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	6	授業の取組 発問評価 課題点検 定期考査 小テスト

9 10	漢文	孔子と子路	<ul style="list-style-type: none"> ・人物をテーマにしたやや長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・句形の読みと意味とについて理解し、それに即して現代語訳をする。 ・『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。 	6	授業の取組 発問評価 課題点検 定期考査 小テスト
	物語	大鏡	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史物語の構成や展開を把握し、菅原道真などの登場人物について、行動や心情を本文に即して読み味わう。 ・敬語について理解し、現代語訳に適切にいかす。 ・助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	6	授業の取組 発問評価 課題点検 定期考査 小テスト
11	物語	源氏物語	<ul style="list-style-type: none"> ・長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動野心状を読み味わう。 ・敬語について理解し、現代語訳に適切にいかす。 ・助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	6	授業の取組 発問評価 課題点検 定期考査 小テスト
	漢文	漢の高祖と韓信・張良	<ul style="list-style-type: none"> ・人物をテーマにしたやや長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、人物の行動や心情を読み取る。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改め、現代語訳する。 ・句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。 ・歴史の中の人間像について考える。 	6	授業の取組 発問評価 課題点検 定期考査 小テスト
	評論・随筆	風姿花伝 ささめごと 玉勝間	<ul style="list-style-type: none"> ・評論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・歌論中に取り上げられている和歌を鑑賞する。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 ・さまざまな時代の評論を読み味わう。 	8	授業の取組 発問評価 課題点検 定期考査 小テスト

12 1	総合演習	単元融合問題 物語・日記・評論 歌論・随筆	<ul style="list-style-type: none"> 多くの作品を読み、古文に親しむことで、ものの見方や感じ方、考え方を広くする。 構成等に注意して、大まかな内容をとらえる。 敬語・助動詞・助詞・副詞・重要古語等に注意して正確に逐語訳をする。 和歌の表現技巧に注意して現代語訳し、和歌に描かれた心情を理解する。 	10	授業の取組 発問評価 課題点検 定期考査 小テスト
2 3	総合演習	単元融合問題 物語・日記・評論 歌論・随筆	<ul style="list-style-type: none"> 様々なジャンルの問題を読むことで、視野を広げる。 複数の作品を関連づけ、自分の考えを深める。 主語や目的語等を補いながら、わかりやすく現代語訳をする。 助動詞や助詞の識別が正確にする。 和歌の表現技巧を理解し、現代語訳をする。 	10	授業の取組 発問評価 課題点検 定期考査

計 70 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

- 週末課題は別途指示する。
- 休業中の課題は別途指示する。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。		
(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)	(知識・理解)
関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して進んで古典に親しもうとしている。	古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、生活や人生について考え、古典に親しんでいる。	古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、 ・授業の取り組み (授業態度、音読や発表、討論の様子、学習活動への参加状況など) ・課題の提出状況、取り組み方などの内容 ・小テスト (古文単語・古典文法、漢文の句形等) ・定期考査 などから、総合的に評価します。		

6 担当者からの一言

- 授業を大切にするのはもちろん、主体的に家庭学習をすすめ、積極的に教科書以外の部分も読書することによって、古典についての興味・関心を深めてほしい。

(担当：原・津野)